

登録コード	EKE12900	開講年度	2026					
授業科目	学校における多文化教育				担当教員	徳井 厚子		
英文授業名	Multicultural Education for JSL children				副担当			
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	木曜・2時限		履修学年	1 - 2年
講義室				授業形態	講義	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				【授業の達成目標】			
	26EAカリ，25EAカリ							
	教育の専門職としての学識・技能				近年増加している外国籍児童生徒への教育のニーズに対応できる力を身につける。			
	26EAカリ，25EAカリ，24EAカリ							
	子どもの多様なニーズへの対応力				近年増加している外国籍児童生徒への教育のニーズに対応できる力を身につける。			
(2)授業の概要	外国籍児童をとりまく国内・地域の現状、外国籍児童生徒のアイデンティティ、言語指導、教科指導について学ぶとともに、多文化化していく学校に対応する教員に必要な資質・能力について学ぶ。また実際に現場を参観し外国籍児童生徒の教育の実践方法について学ぶ。							
(3)授業計画	この授業は、「遠隔授業科目」です。 第1回：外国籍児童をとりまく日本国内・地域の現状と課題 第2回：外国籍児童生徒のアイデンティティ・言語指導 第3回：外国籍児童生徒の教科指導 第4回：学校における多文化教育と課題 第5回：外国籍児童生徒の教育実践 第6回：外国籍児童生徒の教育と評価 第7回：まとめ アンケート実施							
(4)成績評価の方法	課題レポートと演習による研究発表に関わる討論によって各研究領域での内容が理解できているか、各研究課題（実践課題）に対する問題意識はどの程度深化しているかについて評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀，89-80% 優，79-70% 良，69-60% 可，59%以下 不可							
(5)履修上の注意	積極的に意欲をもって受講すること。 ・不明な点は，質問するなどして，積極的に解決すること。							
(6)質問、相談への対応および連絡先	メールアドレス：tokuias@shinshu-u.ac.jp							
(7)成績評価の基準	「卓越している」：外国籍児童の教育を高度に理解するとともに、実践的課題への貢献を深く考察している。 「かなり上である」：外国籍児童の教育を理解し、実践的課題への貢献を深く考察している。 「やや上にある」：外国籍児童の教育をおおよそ理解し、実践的課題への貢献を考察している。 「水準にある」：外国籍児童の教育を最低限説明でき、実践的課題への貢献を考察している。							
(8)事前事後学習の内容について	各回の授業内容に関連した文献等を事前に自主的に検索・収集して調べること。また，各回の授業で扱ったことについて，事後に自分で調べて考察を深めること。この授業は45時間の学修を必要とする内容です。従って、30時間以上の時間外学習が必要となります。							
【教科書】	使用しない							
【参考書】	適宜提示する							